

序章 人口と健康の世界史	秋田 茂・脇村孝平	1
--------------	-----------	---

1  新しい感染症と「人類史の現在」	1
2  人口の世界史——「人口転換」論を超えて	5
3  健康の世界史——「疫学的転換」論を超えて	9
4  戦後アジアの国際秩序とグローバル・ヘルス	13

## 第1部 人口の世界史——「人口転換」論を超えて

第1章 狩猟採集社会の人口学的分析	木下太志	21
-------------------	------	----

1  狩猟採集民とはどのような人たちか	21
2  研究のための二つのアプローチ	24
3  自然環境・疾病・死亡	25
4  出生	29
5  人口増加を抑制するためのメカニズム	32
6  狩猟採集民の死亡・出生・人口	35

第2章 近代に向かう人口と環境	村山 聡	41
-----------------	------	----

——ヨーロッパ、特にドイツを中心に——

1  近代移行期の環境史	41
2  近世近代ドイツにおける乳児死亡率の地域性	43
3  ドイツにおける二つの社会生態系ネットワーク	48
4  近代移行期における生命空間の多様性	57

第3章 近世日本の人口戦略	友部謙一	63
---------------	------	----

1  問題の所在——村請制・主体均衡・生活環境	63
2  近世日本農村の婚姻出生力（推計）から見えてくるもの	66
3  近世日本農村における婚姻出生力の形成要因 ——近代日本の流産・死産・感染症（梅毒・結核）・乳児死亡研究から	70

コラム1 梅毒	宮崎千穂	83
---------	------	----

第4章 アイランド大飢饉	勝田俊輔	89
--------------	------	----

——一九世紀北大西洋世界への位置づけ——

1  アイランド大飢饉の歴史認識・研究動向	89
2  ジャガイモとアイランド大飢饉	91
3  北大西洋世界とアイランド大飢饉	97
4  大飢饉一五〇周年記念運動	102
5  課題と展望	107

第5章 ジェンダーとリプロダクションからみる中国の人口史……………小浜正子…117

——家父長制家族から一人っ子政策へ——

- 1 人口とジェンダー……………117
- 2 前近代中国の人口動態と人口調節……………119
- 3 近代中国における生殖と民族……………122
- 4 中華人民共和国の人口政策——計画出産から一人っ子政策へ……………124
- 5 一人っ子政策の終了と少子高齢社会の到来……………135

第6章 現代アジアの少子高齢化……………大泉啓一郎…139

- 1 変わるアジアの人口構成……………139
- 2 世界人口とアジア……………140
- 3 人口動態と経済成長……………146
- 4 人口高齢化と社会保障……………151

第II部 健康の世界史——「疫学的転換」論を超えて

第7章 疫病と公衆衛生の歴史……………永島 剛…163

——西欧と日本——

- 1 疫学的な時代区分……………163
- 2 疫病史の視角……………165
- 3 公衆衛生の形成……………171
- 4 疫病減少の時代？……………179

コラム2 ペスト……………竹田美文…187

第8章 工業化・都市化と結核……………花島誠人…191

- 1 世界史の中の結核……………191
- 2 近代における結核死亡率……………192
- 3 戦間期日本の死因別死亡率の時系列推移……………195
- 4 都市化と結核死亡率……………197
- 5 近代日本の工業化と結核……………199
- 6 石原修の『女工と結核』……………202
- 7 労働移動と帯患帰郷……………204
- 8 絹・綿・結核……………206
- 9 工業化・都市化・結核——再考『女工と結核』……………211

## 第9章

ハンセン病者の社会史……………	廣川和花	219
——日本の〈近代化〉の中で——		

## 第10章

1 近代日本のハンセン病史——研究状況と課題……………	219	
2 近世日本におけるハンセン病者の存在形態……………	222	
3 身分制の解体とハンセン病者にとっての〈近代化〉……………	225	
4 明治前期東京のハンセン病者……………	230	
5 日本のハンセン病者にとって〈近代化〉とは何であったか……………	236	
精神医療の歴史学とその射程……………	高林陽展	243
——医のまなざしと病者の主体性、バイオとソーシャルをめぐって——		
1 精神医療史をめぐる二つの論点……………	243	
2 医のまなざしと精神疾患当事者の主体性……………	244	
3 精神医療史のバイオとソーシャル……………	253	
4 精神医療史のこれから……………	261	

## 第11章

眠り病と熱帯アフリカ……………	磯部裕幸	267
——近代医学の描く「文明」と「自然」——		
1 「帝国医学」と植民地支配……………	267	
2 眠り病対策における「環境主義的アプローチ」の展開……………	272	

## 第12章

コレラと公衆衛生……………	千葉芳広	287
——帝国植民地の比較史——		
1 課題と方法——近代南・東南アジアにおけるイギリスとアメリカ……………	287	
2 一九世紀以降のアジアにおけるコレラ・パンデミックの位相……………	289	
3 イギリス植民地における帝国医療——インド・ビルマ・マラヤの事例……………	296	
4 アメリカ統治下フィリピンの帝国医療……………	301	
5 帝国医療と政治経済……………	305	

## 第13章

フィラリアの制圧と二〇世紀日本の熱帯医学……………	飯島 渉	311
——風土病の制圧から国際保健へ——		
1 熱帯医学とフィラリア……………	311	
2 日本におけるフィラリアの発見……………	314	
3 風土病との闘い……………	316	
4 沖縄と韓国への展開……………	320	
5 国際保健への展開……………	322	
6 二一世紀のフィラリア対策……………	326	



第14章 「帝国医療」から「グローバル・ヘルス」へ……………脇村孝平……………333

——マラリア対策に焦点を合わせて——

- 1 グローバル・ヘルスの歴史的起源……………333
- 2 両大戦間期および戦時期のマラリア対策……………335
- 3 「マラリア根絶計画」(MEP) (一九五五～六九年)……………340
- 4 「マラリア根絶計画」(MEP) とサブサハラ・アフリカ……………343
- 5 「マラリア根絶計画」(MEP) 以後……………351
- 6 マラリアは根絶しうるか……………353
- コラム3 感染症対策におけるCDCの大きな存在感……………加藤茂孝……………358

人名・事項索引